

冷凍マグロを担保としたABL

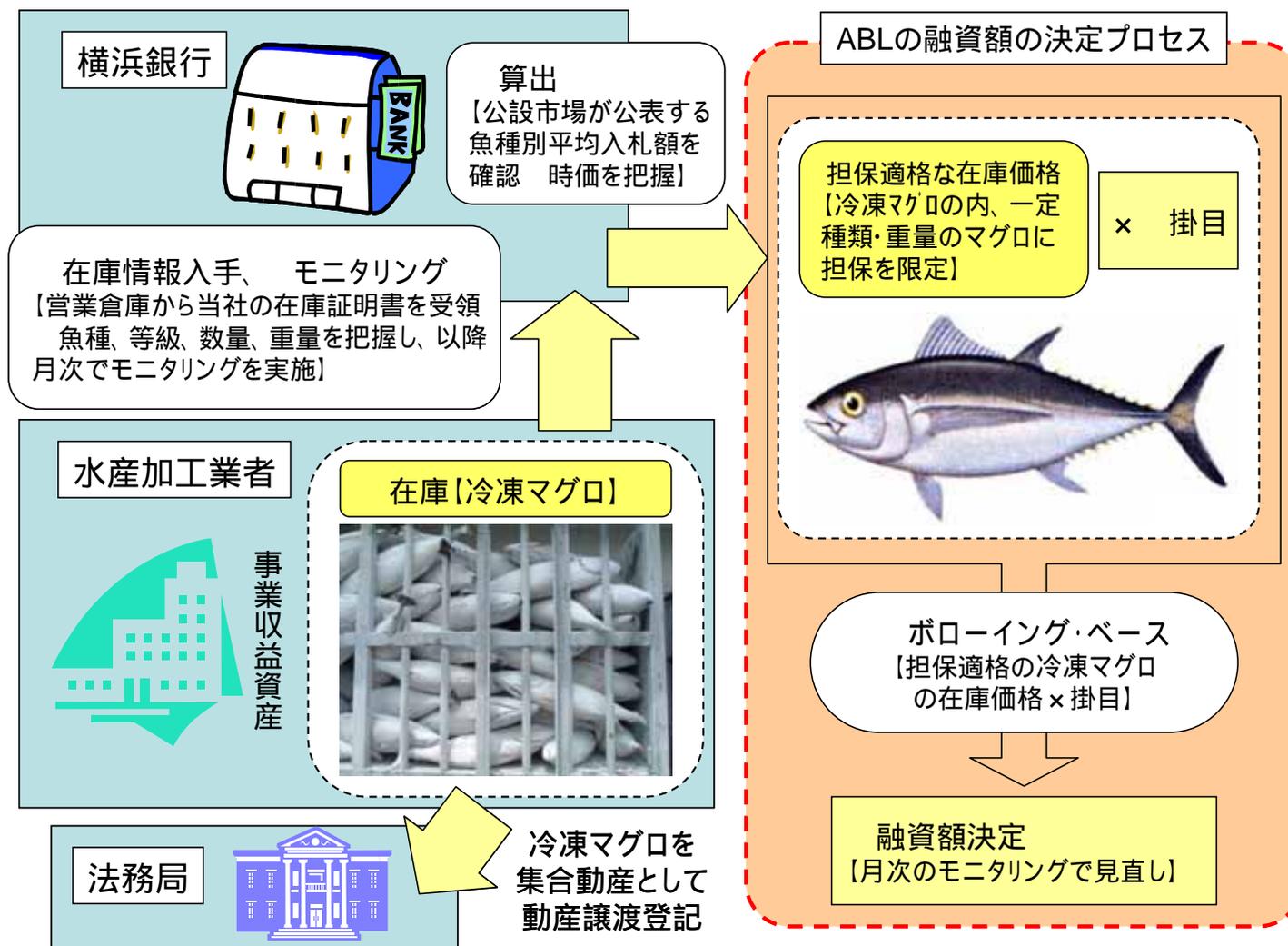
(金融機関名) 横浜銀行

1. 動機(経緯)	<ul style="list-style-type: none">・借入人は地元最大手生鮮魚介(主要取扱品目は冷凍マグロ)卸売業者・以下の理由により、仕入れを行った冷凍マグロの在庫負担が漸増している為、在庫を活用した融資の取組みについて相談あり、仕組みを組立て融資に至ったもの<ul style="list-style-type: none">- 仕入れの際、1船買いを行っている為買取の際には買取資金が必要となること- 今後、マグロ漁獲高の減少が見込まれ、水揚げがある仕入可能な時に在庫量の確保をしておく必要性があること
2. 概要	<p>取引先保有の商品在庫(冷凍マグロ)の当初評価額に基づく当座貸越枠設定 集合動産として動産譲渡登記 毎月在庫保管業者より在庫証明書(魚種、等級、数量、重量)を取得、在庫評価額に基づき貸出可能金額を算定の上借入人へ通知 貸出可能金額<融資残高となった場合、超過部分について借入人より弁済</p>
3. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none">・当社の商流に合致した資金枠の確立・不動産担保や人的保証に対する依存軽減ならびにリスクの分散・月次の在庫モニタリングによる業況に関わる借入人・金融機関間の情報の非対称性の緩和
4. 今後の予定(課題)	<ul style="list-style-type: none">・動産担保融資を普及させる為の一連の体制整備(評価~管理~処分)・案件実績積上げによる関連データ蓄積

・担保・保証に過度に依存しない融資：在庫資産を担保とした事例

事業の特徴に着目した機動的な資金供給を実現

在庫評価額にもとづく融資枠を設定



ABL
(Asset Based Lending)

「動産・債権等の事業収益資産を担保とし、担保資産の内容を常時モニタリングし、資産の一定割合を上限に資金調達を行う手法」(「ABL研究会報告書」2006年3月 経済産業省)